

PETEKAN stages it in Akasaka RED/THEATER from 12th to 20th in November, 2011

彼のことを知る旅に出る

脚本 本田 誠人

**ペテカン**

キャスト

彼

蒼山のり

みえこ

翔

もみじ

るみ

まみ

中迫

重村先生

めぐみ

せいこ

福ちゃん

アザミ

六郎

詩織

渡会

母ちゃん

運転手さん

太田さん

舞台はMORE STAGE LIKE TO MOVIEの舞。

客入れの音楽、ボリュームが上がる。同時に客電が落ちて行く。客入れのボリュームが下がって行く。上手から登場したのはウクレレを手にしたみえこ。

やがて、みえこ幕前で歌い始める。

『また会えるかな』 詞・曲 佐藤みえこ（公演オリジナル楽曲）

また会えるかな また会いたいな

あの時の 出会いと同じ様に

また会えるかな また会いたいな

いつかまた 偶然に

また会いたいな また…

笑って会えたらな

照明が変化し、幕向こうで彼が立っていることが分かる。曲きつかけで幕が落ちる。

舞台上で彼が正面遠くを眺める。

劇場入口の客席から舞台に向かって歩いて来たのは蒼山のり。

舞台上上がったのりはそのまます前前にもちよこんと立ち、ゆっくり下手のベッドへと登って行き、布団に潜り込む彼をじっと見ている。

センターにみえこ。下手に彼。歌い終わったみえこが退場。

静寂—。

のり 「また会えるかな また会いたいな また会えるかな また会いたいな」皆さんにもそう

いう人っていますか？ もう一度会いたい。もう一度会っておしゃべりしたい。もう

一度会って…：例えばそれが恋する相手…：また会いたい。例えばそれが別れた昔の

彼氏…：久々の再会、「最近どうよ」なんて近況報告し合いたい。ただしこれ、いい思

い出の場合。人によっては別れ方によっては鋭利な何かでいっその事ブスリとこう刺

してやりたい「エイッ」て…。(ニコリ) もう会うことの出来ないおじーちゃんだっ

たら肩を揉んであげたい。おばーちゃんだったら、うーん…：料理が得意だったんで

料理のひとつやふたつ、教えてもらいたい。特にひじきときんぴらごぼう。真似て作ってもいつも何かが足りません。お父さんとは晩酌を。お母さんなら一緒に買い物に。お兄ちゃんとはドライブに。お姉ちゃんなら恋の相談。弟ならネクタイをプレゼント。妹ならケーキに紅茶だけで喫茶店で3時間も4時間もおしゃべりしたい。そして大事な友達なら学生時代のあの頃は良かった話に花咲かせたい。……きつと皆さんにもいると思います。もしくは……いたと思います。

「また会えるかな また会いたいな」私にもいます。彼です。

彼がベッドからムクツと起きて。

彼 えー、只今ご紹介預かりました

のり 硬い。

彼 (軽やかに) 彼です。

のり 軽い。

彼 どうすりゃいいんだよ。

のり しばらく黙ってて。

彼 というわけなんですしばらく黙ります。ただ僕の場合

のり (遮り) うるさい。

彼 ………。

のり ではここで彼のことを話してみましよう。彼はこんな人です。一度だけ浮気しました。

彼 ちょっと待って！ え？ 先ずそれ！？

のり 夏、

彼 おい。

のり 朝帰りした彼の頭の匂いがフローラルの香りがしました。男友達と飲みに行つて、はしご、はしご、またはしご。はしごはしごで終いにやあ、はしごを踏み外してしまつたのでしょうか？

彼 あ、上手い…。

のり あんだけ汗っかきの彼が、帰宅したらフローラルです。ビックリです。フローラルですものビックリです。その時の言い訳には怒る気力も無くなりました。「なんでフローラルのいい香り？」

彼 「お花畑で飲んだんだよ」

のり 呆れました。呆れましたし、許してあげました。その後はあったかどうかは知りません。無かつたと思っています。

彼 ちよつといい？

のり ？

彼 耳ふさいで。

のり (え？)

彼 いいから。

のり (耳をふさぐ)

彼 ここだけの話、実はもう一度ありました。そりゃあ、男ですもの。しかし、一度犯した過ちを繰り返す程、僕も馬鹿じゃありません。その時は帰宅前にコンビニでタバコと缶ビールを購入し、タバコの煙を体にこすりやっつけて吹き付け、そして缶ビールを開け、頭からかぶりました。浴びる程飲むとは言いますが、本当に浴びてしまいました。(のりが聞いていることに気付き、目が合う)

のり 彼と付き合って9年。気が付けば誕生日が来ても素直に喜べない年齢に。自分の手帳には年齢分のドクロマークを書くようになってしまいました。小さい頃描いた、23で結婚し、30前には三人の子供に恵まれる我が人生バラ色プランはどれひとつ叶わず、気付けばその30もとうに越え、手帳に描く年齢分のドクロすら辞めてしまいました。(笑) 周りの友人、結婚ラッシュはようやく落ち着きましたが、収まらないのは出産ラッシュ。こないだ産んだと思ってたから、またお腹が出るから、「気をつけないとね、産後太り」って言ったらふたりめご懐妊。首座ったと思ったらつかまり立ちしたと思ったら歩き出したと思ったら喋り出す赤子の2年の成長は凄い。でも負けてないぞ、30越えてからの女の……老いも。

笑っている彼をのりが睨み

のり 地図が読めない彼。朝が苦手な彼。メールが苦手な彼。猫好きなのに猫アレルギーの彼。寝顔のひどい彼。

彼 うるさい。

のり 酔っぱらった時だけ自分から手をつないで来る彼。ほしのあきのDVDを隠し持っていた彼。

彼 ワオ。

のり 巨乳好きの彼。

彼 無いものねだり。

のり (睨みながら) ジェットコースターに乗れない彼。お腹が弱い彼。小さい頃、プロ野球選手になりたかった彼、朝、起きた時の口臭がもの凄く臭い彼。汗をかいた頭皮が

臭い彼。足が臭い彼、

彼の おい、臭いのぼっかりになってるよ。

のり いくつまでに結婚したい？ って私の誕生日に聞いた事がある彼。子供の名前を勝手に決めていた彼。最後に笑顔を残して、私の前からいなくなった……死んじゃった彼。……。

のり こぼした涙がやがて海となり、気が付けば何もかも塞いで、その海で溺れかけていました。「九年」……彼のことはなんでも知ってるつもりでした。あの日からもうすぐ一年。私は知りたくて、彼のこともっと知りたくて、たくさんの人達に彼の話を聞くための旅に出る事にしました。

「また会えるかな また会いたいな」

皆さんにも、そう思う人はいますか？ 「彼のことを知る旅に出る」 始まります。

## オープニング映像

彼について喋ってくれたみんなの顔や旅先での景色、空やらが曲に乗って映し出される。

最後にタイトル「彼のことを知る旅に出る」があつてー。

曲、映像C Oと同時に照明C I

そこにはホストのオフ日の翔が渋い表情で……。

翔 いやさー最初さー聞いたときはさーホント信じられなくてさー。

のり オシャレなカウンターバー。彼の親友、翔君はこんな話をしてくれました。

翔 頭が真っ白になっちゃって……オイラにとっては間違いなく一番の、親友だったね。

彼 いや、言うほど仲良く無かったんだけどなあ。

のり 親友って言ってたよ。

翔 親友だった。

彼 そもそもあんまり好きじゃなかったんだけどなあ。

翔 マブダチだった。……思い出？……んー……あ、思い出しちった。なんか、エイプリルフルに、ちよつとした嘘ついたのー、オイラ、あいつに。なんかふたりで飲んで、座・和民で。「実家の親父が倒れちゃって、俺、明後日からスペインの実家に帰らなきゃいけなくなつたんだ」って。で、「スペインの実家で代々引き継がれて来た闘

牛土の後を継がなきゃならないんだ」って話したらあいつ……信じちゃって。

のり 普通、信じるかな？

彼 だって、マジメな顔で言うんだもん。

翔 で、いつかスペインでオイラのマタドール姿を見てもらいたいわって話したら「絶対行くよ、絶対行く、俺、絶対行く、行く行く」って言うてくれて。

のり (彼に) バカでしょ？

翔 で、「キヨシちゃんが」あ、キヨシってオイラの本名ね、「キヨシちゃんが牛と闘う姿を絶対この目に焼き付けたい」って。「今度の休みに俺、パスポート取りに行く！」って言い出して。

彼 言うてないと思うけど…。

翔 あ、俺？ 確かにハーフなんだけど、うちの親父、外人の顔して奈良で奈良漬け作ってたからね。俺？ 奈良生まれの奈良育ち。スペイン語？ 無理無理、英語もスペイン語も全然しやべられへんねん、ウケるやろ？ (笑) まあ、思い返せば……それが、一番の思い出かな。

彼 もうちよつとあつて欲しいなあ…。

翔 あ、あと、あ、でもこれはなあー、言うていいのかなー？

彼 え？

翔 まあでも、もう時効かな？

彼 ちよつと待った！ 何を言おうとしてる!？

翔 (笑) なんかこの辺で聞かれてんじやないかって気がしちやって (笑)  
のり 聞いてんだけどね。

翔 一回……

彼 あ!

翔 一緒に

彼 待った!

翔 キャバクラに行ったのね。あいつと。

彼 ワオ……。

翔 そしたらさあそこのお姉ちゃんがさあ、名前なんつったつけかな。 (暗転)  
もみじ 秋野もみじと申します。

翔暗転にクロスして明転するとお着物姿のもみじが別空間に。

開店前の純・和風ラウンジ「花園」の店内。

翔、退場。もみじが名刺を取り出し、差し出す。のりがその名刺を取りに行く。

のり ……純・和風ラウンジ「花園」

もみじ 彼との思い出？（笑）

のり よく行ったの？

彼 いやいや、無理矢理、中迫さんに連れて行かれただけで、しかも一回行っただけだし、  
もみじ 週一で来てくれたのね。

彼 そんなに行っていない！

のり ねえ、「キヤバクラとか行ったことない」って言ってたよね？

彼 ラウンジとキヤバクラは違う！

のり 知らないよ。

もみじ で、いつつももみじのこと指名してくれて、他にも若くてかわいいコ、たくさんいる  
のに。あ、すみれちゃんおはよう。ん？ あ、ちょっと、私にお客さん、蒼山のりさ  
ん。オープンスタンプバイよろしくねえー。（のりに）ごめんあそばせ。……多分ね、多  
分ですよ、もみじに……彼、ホの字だったんじゃないかなあ……。  
のり だって。

彼 なーんてこったーい。（ベッドに倒れる）

もみじ なんか、よくボディアップして来て……、あ、ボディアップってボディアップローションの  
事ね。まあ、この世界では会話の流れで上手く相手のボディを、自然な感じでナチュ  
ラリングにタッチするのね。んー例えば……「飯島さん、最近来なかったから寂しか  
ったあー。」

もみじが会話の流れで自然に隣の男の膝の上に手を置いていた。

もみじ （小声で）これね。で、この手に彼は……。

もみじ、反対の手で、『私の手に自分の手を重ねて来たの……』と表現。

彼 してないしてない。

もみじ 勘違いだったらいいんだけど、もみじに、彼、ホの字だったんじゃないかなあ……。

彼 勘違いだよ！

もみじの照明CO もみじ、退場。るみとまみ、登場。

のり　そして、賑やかな大学の学食で、語ってくれたこのふたりは。

　　るみまみに照明C I　大学の学食

彼　え？

るみ　あー、覚えてる覚えてる。

まみ　覚えてますよ。

彼　誰だ？（二人の事を思い出そうとしている）

　　るみとまみ、のりからその彼の死を聞かされる間……。

彼　　あー思い出したあー……。

るみ・まみ　え……。

るみ　え、死んだってのは…え？…死んじゃったって事？……えー！。

　　しばし沈黙。

「どんな話してもいいんで彼のことを聞かせてくれませんか？」と、のりから言われている間。

るみ　そのおー、まあーなんて言うか、合コンでお会いしたわけなんですけどもー

彼　　いや、合コンって言っても中迫さんに強引に連れて行かれただけで、

るみ　また中迫さん？　中迫さんは何者なの？　まあ、後で出て来るけど。

彼　　あ、中迫さんの所にも行ったんだあ。

るみ　（遮り）いやなんか、「合コンなんて初めてなんだー」みたいなことを多分言ってる、

　　……あんまりしゃべんなくって、正直、あんまり印象ないなあ、私は……。すいませ  
ん、なんか力になれずに……。まみは？

まみ　まみはいい印象しか無いのね。（既に泣きそう）

るみ　？

まみ　あの日もね、私がおしぼり渡してあげたり、ビールお酌してあげたり、サラダをよそ  
ってあげたり、額に汗かいてたから私のハンカチで拭いてあげたりしたらね、彼、「あ  
りがとう」って……。 （るみに）彼ね、

るみ　うん。

まみ　「ありがとう」って。

るみ　うん。そっか。

まみ 「ありがとう」って。

るみ そっかそっか。

まみ 「ありがとう」

るみ (遮って) まみはねえ、気が利くコだもんねえ。

まみ うん。

るみ このコ、うちのサークルの中でも、あ、チアリーディング部なんですよー、うちら。分かります？ チアリーディングって。あ、何？ その目は？ そうですよ、私は踊りませんよ、マネージャーですよ。で、このコ、その中でも1番かわいいの。

まみ そんなことないよ。

るみ かわいいの。うちの大学のミスコンでね、言っている？

まみ やだー、なんか自慢みたいになっちゃうから。

るみ いいよ、自慢出来る事じゃん。

まみ あれはたまたまだし。

るみ たまたまじゃないよ、たまたまでグランプリは獲れない。

まみ あー言っちゃったー…。

るみ そう、ミスコンでグランプリ獲ったのね。

まみ たまたまなのにー。

るみ たまたまじゃ獲れないのグランプリは。

まみ だって名前呼ばれた瞬間も、まみ、気付いてなくって「えーおめでとー7番の人。

えー誰えー？ 7番誰えー？ えー？ 私？ え？ 私？ え？ 私？」って感じで本当に信じられなかったんだから。

るみ 見てたよ、観客席で。でも私は信じていた。まみがグランプリを獲るのを。

まみ いやいや、優菜ちゃんとか、葉月ちゃんとか、あと…誰だっけ？

るみ 綾美？

まみ 違う。

るみ 桃香？

まみ 違うよ、桃香ちゃんは決勝進めなくて控え室でタバコ吸いながらブーたれてたコでしょ？

るみ え？ そうなの？ 最悪。

まみ あのほら、予選の時と、決勝の一ヶ月で一重だったのが二重になってて、整形したんじゃないかって皆に影で言われてた…。

るみ 七瀬！？

まみ そう！ 七瀬ちゃん七瀬ちゃん

るみ 何？ 整形したの？ わざわざ？

まみ あくまで噂ね。私は絶対してないと思うんだけど、絶対してないと思うんですけど、そういう、う、わ、さ。

るみ (のりに) 噂ですから。

まみ そう、その整形した七瀬ちゃんの方が絶対かわいいと思うもん。

るみ いや、まみの方がかわいいい。

まみ 七瀬

るみ まみ

まみ 七瀬

るみ まみ

まみ 七瀬

るみ まみだよっ！！！！！！

まみ ……。

彼 俺の話し、いつ出て来るんだよ。

彼女 (静かに)

るみ だからまみがグランプリ獲ったんでしょ？ 私もまみに一票入れたし、事前のインターネット投票でも私は何票もクリックしてまみに入れたんだよ。クリックしすぎて、一時は2位に二万票くらい差が付いて、それが問題になって、翌年からネット投票はなくなったんだよ。そんなの！……まみがそうやって言ったら、優菜ちゃんや葉月ちゃん、それに、わざわざ整形までした七瀬が

まみ (のりに) 噂ですよ。

るみ (のりに) 噂ですよ。かわいいそうじゃない！ とにかく、もっと自分に自信を持って。

まみは、まみはなんつったってグランプリ獲ったんだから、それだけかわいいんだよ。

まみ ……そうなのかなあ？

るみとまみの照明CO るみとまみ、退場。

彼 俺、関係ねーじゃねーかよ！

のり うん。

彼 もっと、こうさー俺との思い出を熱く語ってくれた人はいないの？

中迫登場してすぐに照明CI ライブが終わった直後の路地裏。

中迫 あいつは（胸からシガレットケースを取り出す）本当にいい奴だったよ。

彼 あ。

中迫 思い出？ 尽きねえ。

彼 中迫さん。

のり 彼が噂の中迫さん。普段はジムのインストラクターをやっています。

中迫 （禁煙パイポを口にして）職場で唯一俺の話しを分かってくれる奴だったしね。で、

何度か俺のライブにも来てくれて……そうさねえ……珍しく俺とROCKが合う、ROCKの肌が合う、但し、俺はロッカーではない。ロッケンローラーなの。分かる？ ロッカーはただのロッカー。ロッケンローラーは、ロックが……ローラー、そう、転がってんのな。常にロックを転がしてんの俺は。そういう意味ではあいつは俺とROCKが合う、数少ないファンキーモンキーベイビーだった。

彼 結局意味分かんないじゃんか。

中迫 （ポケットからチラシを取り）これ、来月あるライブだから良かったら来て。

中迫、チラシを出したまま話す。のりが近付きチラシを手にし上手に戻る。

のり Live the Go to Heaven

彼 こちとらもうHeavenだつーの。

のり 笑えまへん。

中迫 俺から買うと前売2000円が「いちごー」になるから、損はさせねえよ。ここでグッドニュース。このライブであいつのために作った曲をやるのな。そう、俺があいつのために書いた詞があって、なんつーか、あいつが死んでから丁度、フォーティナイナーデイの日……そう、四十九日の時に行きつけのショットバーで飲んで「マンハッタンシカゴ」っていう、東中野にある店で。そしたらなんつーの？ あいつに対しての思いがどんどん溢れて来やがって。ああ、じゃあ今、やってやろうかその曲。メンバー呼んでこよっか？……あ、そう？……イエス、俺は常にロックを転がしてんの。

中迫の照明CO

のり ロックを転がしている中迫さんでした。

彼 職場では凄い浮いてんだ。

重村先生の照明C I 学校、美術の職員室で立ち話。

重村先生 うん……非常に優秀なコでしたよ。努力を惜しまないコでしたね。

彼 先生！

重村先生 もちろん覚えてますよ。

のり 彼の高校時代の恩師、

彼 重村先生

のり です。

彼 卒業して随分経つのに

重村先生 彼は

彼 ちゃんと覚えてくれてたんだな！

重村先生 サッカー部だね。

彼 テニス部！

重村先生 丁度ああいふ感じでグラウンドを駆けてましたよ。暗くなるまでねえ。

彼 誰かと勘違いしてんじゃないの？

重村先生 そう、彼、一度男子トイレでタバコを吸ってる所を見付かってしまいましたね。

彼 あ。

重村先生 それがまたやっかいな生活指導の先生に見付かって、自宅謹慎になるだならぬだの話になりましたね。で、呼んだんです。私の部屋に。私はね、美術を教えるもんだから、普通の先生方とは違う、美術室の隣りにある本当にポツンと一人きりの職員室だったんですね。それで、怒ったんです。「バカモン！ タバコは二十歳になつてからだろう！」

彼 そう、それが

重村先生 っつて、まあ普通の先生ならそう怒るんでしょうけどね、私も14の時からやってましたからね。一応教師として注意するべき点はちゃんとしたんですよ。「吸い過ぎには注意しなさい」「見付からない様に吸いなさい」「どうしても学校で吸いたくなつたら……ここに来なさい」とね。

のり そうなの？

彼 うん。

重村先生 あれが最初で最後でしたね、私が彼を叱ったのは。そして、これが二回目です。彼を叱るのは。私より先に逝くなんて……（ポケットからタバコを取り出して）吸つてもよろしいですか？

重村先生の照明F O 退場。

彼 いつもタバコ吸ってて。月曜日の朝は決まって酒臭いの。そう……思い出した。一度、先生に聞いたんだふたり並んで誰もいない職員室で、「先生の将来の夢は」

めぐみ、せいこに照明C I 北関東にしかないコンビニ「ワイズマート」の前、立ち話。

めぐみ つていうか、超ウケる。

めぐみとせいこ、手を叩いて腹を抱えて大笑い。

彼 うるさいよっ！

のり そしてこの二人組の場合。

めぐみ やっぱい、笑い過ぎてお腹……お腹減って来たんだけど。

せいこ (お腹に手をやり) 何ヶ月？

めぐみ 万年臨月。

手を叩いて腹を抱えて大笑い。

めぐみ 万年臨月だって

めぐみ・せいこ 超ウケる。

せいこ (ようやく笑いが収まりながら) まんねん……まんねんってどういう意味？

めぐみ 分かん。

せいこ 知らねんだ。

めぐみ・せいこ 超ウケる。

手を叩いて大爆笑。

めぐみ うちなでしこジャパンに入りたい。

せいこ 入りたいっ！

めぐみ 超いいよねーなでしこ。

せいこ いいっ！

めぐみ 何がいいってあの試合後のヒーローインタビューみたいな

せいこ 分かる！ あれ超いい！

めぐみ 死ぬ前に一度でいいからあのヒーローインタ

せいこ (遮り) 放送席放送席。

めぐみ ？

せいこ 本日見事2得点を決めました、山田選手に来て頂きました。おめでとうございます。

めぐみ ……ありがとうございます。

せいこ ゴールを決めた瞬間はどんな感じでしたか？

めぐみ 「やったっ」て感じでした。

せいこ しかしその後、一点返されました、その時はどんな感じでしたか？

めぐみ 「やべっ」て感じでした。

せいこ そして後半のロスタイムに得意のヘディングで

めぐみ (ヘディングの動き)

せいこ この歓びを誰に伝えたいですか？

めぐみ ……旦那？

せいこ 次の戦いに向けてひとこと。

めぐみ まだ私達が目指すのもっと高い位置なんで、今日の勝利は勝利として、次もまた  
気を引き締めて行きたいと思います。

めぐみとせいこ、手を叩いて腹を抱えて大笑い。

めぐみ なんか私い、どっかの国ではもてるらしいよ。

せいこ 嘘っ！？

めぐみ マジマジ。

せいこ 何情報？

めぐみ なんか先週、じーちゃんが死んで

せいこ 嘘っ？

めぐみ 死んだ。で、火葬場で燃<sup>も</sup>してる時に、久々会った親戚のおじちゃんに言われた。

せいこ うわ超いいじゃん！

めぐみ なんかあ、どっかの国ではもてるらしいよ。

せいこ どこ？

めぐみ へ？

せいこ 国どこ？

めぐみ 分かんねー。

せいこ なんでもてんの？

めぐみ へ？

せいこ そこだと、なんでモテんの？

めぐみ 分かんねー。

せいこ じゃ今度教えてー。

めぐみ うん。っーかお姉さんいくつ？

せいこ いくつ？

間ー。

せいこ 遅っ！

めぐみ じらすねー。

せいこ じらすねー。

めぐみ どんだけじらすの？

せいこ じらし過ぎだよー。

めぐみ っーかマジでいくつ？

せいこ ……嘘。

めぐみ あ、結構

せいこ おばちゃんじゃん。

めぐみ 行っつんだ。

せいこ いや、でも全然、ねえ？

めぐみ うん、全然、ねえ、

せいこ 全然全然。まだ大丈夫だよ。

めぐみ 大丈夫大丈夫。

せいこ 自信持ちなよ。

めぐみ うん。

せいこ そうですねー、その自信が過信にならないように次の試合も自分たちのサッカーを  
したいと思います。

めぐみ なでがたジャパン！

大笑いするめぐみとせいこ照明CO 退場。

彼 奴らは何を喋ってるんだ？

のり っっていうか、彼女達とはどうやって知り合ったんだ？

彼 死人に口無しだ。



のり 面白かった。

彼 嘘つけー。

のり そして面白かったと言えばこのお姉さん。

アザミの照明C I 心齋橋の飲み屋「三休」

アザミ 悪くはないで……彼。まあたはいかんせん根がマジメ過ぎたわな。さっき話した

福ちゃんの結婚式で、ああそいつ「福井けん」って言うんやで、名前「福井けん」

おもろいやろ？で、その福ちゃんの結婚式の二次会だかこの結婚式の二次会だか三次会だかで久しぶりに落ちついて喋ってん。あ、思い出したわ三次会やわ。なんかおとなしく隅っこで一人、ちびちびちびちびちびちびちびちびちびちび飲んでるから「どや？未婚同士、今夜はふたりでアチチアチチと火遊びしよか？」って冗談やで冗談。ほしたらあのコ、「彼女いるからゴメン」って「マジメか！？」「ウブ研究会か！？」そんな言われたらまるでうちが寒いみたいやん。こっちは冗談で言うところにあるか？そんな「彼女いるからゴメン」ってマジ返事。（鼻で笑って）遊び心無いゆるいかなあー？そないな意味ではつまらん男やったわー。

のり 私はそんな彼が好きでした。

アザミ ワイヤったらこう返すわな。「どや？今夜はふたりで火遊びしよか？」って聞いてみい。……聞いてみい。

のり 「どや？今夜はふたりで火遊び」

アザミ （遮って）「せーへんよ。なんでかゆうたら、アンタと一度燃えてしまいたら、鎮火する自信がうちにはないわ」（自分で笑ってる）ああ、おもろいおもろい。姉ちゃんこれお替わりなー、ん？ホッピー中。

アザミの照明C O 退場。

のり 「彼のことを知る旅に出る」というくらいですから私は全国、彼のことを知る人達に会いに行きました。北は青森から南は新潟まで。

彼 狭い。

のり 嘘々。九州まで。私自身が埼玉出身埼玉育ち。電車に30分も乗ればすぐに東京という中途半端な都会人なもので、その土地の方々との触れ合いは本当に刺激的な物でした。彼の話聞き、美味しい料理に舌鼓。彼の話聞き、地元の温泉につかり癒される。地元の地酒を頂いて、地元の男性に「へいネーちゃん」なんてこともしばしば

彼 何しに行ってたんだよ。

北国の寒そうな風が吹くSE 六郎、詩織の照明FI 地元の喫茶店「りんご」

詩織 もつさりくねーけ？（※北国の言葉っぽくしてある適当な言葉）……もつさりくねーけ？

六郎 万が一、もつさりかったら遠慮なく言ってたな。

六郎と詩織、のりの事を上から下まで舐める様に見て。

六郎 いやー、それにしても……めんこいなー。

詩織 いやーキレイでキレイで、向き合ってるのが申し訳ないくらいで。

六郎 本当だよ。あんまり視線合わせると失礼だからちよつとつむぎ加減で話しとけ。

六郎・詩織 ……何を言うか。

詩織 そんなお世辞言わなくてもいいよー。お世辞でしょー。お世辞に決まってるものー。

六郎 本当、都会の人は口が上手いから。

詩織 ……本当に？ いやいや、女優さんみたいなキレイな人に言われると、ちよつと本気にしちゃまって、いかんいかんのぼせ上がる癖があつてね。

六郎 そうだおめー、冗談に決まってるー。

六郎・詩織 ……え？

詩織 確かにこの人にも出会った時に「目がチャーミングだね」って言われた事がある。

六郎 バカ言うでねーよ。おめー何、人様の前でそげな恥ずかしいこつ言う必要があるかー？

詩織 あーほらまた怒られたー。

六郎 そら怒られるに決まってるべやー。

詩織 もう、怒られてばかりだよー。

六郎 そりゃそーだ。お前のその、のぼせ上がる癖は前からどうにかしろって言ってるべー。

詩織 もう、この癖は本当にどうしようもなくて、いっつもそれで怒られてんだー。

六郎 あつたり前田のクラッカーだべー。

詩織 のぼせ上がる癖はこれは本当直したいんだけどもなー。あと、リバウンドする癖もあつてな。これでも結婚する前は15キロ痩せてたんだから。

六郎 そう、で、痩せてた頃は

詩織 青森の森口博子って言われてたんだから。（自分でウケる）

六郎 知ってるっぺ？ 森口博子。いやーあの人はめんこい。出会った頃は似てたんだから。

東京でやっぱり芸能人とかよくすれ違うんけ？ 森口博子さ会ったら「うちの嫁こさ、  
痩せてた頃はあんたに似てたんだ」って話しをしといてくんねーが？ っっておめはい  
つまで笑ってんだべや〜？

詩織 だって、あんたが面白いんだもの。(笑)

六郎 何も面白い事言ってねーべや〜。昔はこれでもかわいかったんだから。

詩織 「昔は」が余計だべ。あんなだけ出会った頃は「おめが世界で一番めんこい」って言っ  
てくれてたべや〜。

六郎 (大笑い) おめ、バカでねが？ そげなこと、今、言う必要がどこにあんだよ？

詩織 あーほらまた怒られたー。

六郎 そら怒られるに決まってるべやー。

詩織 もう、怒られてばかりですよ。いつもこうだー。(のりに)

六郎 おめはそういう所がダメだってあんなだけ言ってるのに。

詩織 これからお墓さ、一緒に入るまでなんべんあんたに怒られるかと思うと頭痛くなつて  
くるわ〜。

六郎 は！？ その言葉、熨斗をつけてお返しします！

六郎・詩織 (にらみ合って) ん〜！ プイ！

三分クッキングのテーマソングが流れ、六郎と詩織、慌てて退場。

クロスして度会とキッチンセットが入って来る。

新宿二丁目にあるゲイバー「度会」玉ネギを切りながら……。

度会 みじん切りのタマネギ。みじん切りのガーリック。オリブオイルを入れてそこにダ  
イブ。こんがりいい香りがたつまでえ〜炒めちゃう。あ、ガーリック大丈夫だった？  
今更だけど、あ、そう良かった。そしてここで今日の主役、ボンゴレちゃんの登場。  
ボンゴレちゃんもおーダイブ。そして普通ならここでえ〜白ワインなだけどお〜ポイ  
ントオーワン。日本酒登場。日本酒を入れて、ボンゴレちゃんのお口が開くまで待ち  
ます。「お前がやったんだろ！ お前がやったんだろ！」なかなか口を開かないんで、  
既に口が開いたのがこちらにあります。どういうこっちゃ？ (素早く別のフライパン  
と入れ替え) お湯を足してえー、お塩とコショウならボンゴレビアンコ。トマトを入  
ればボンゴレロッソ。でも今日はビアンコでもロッソでもなくう〜 ボンゴレミッ  
ソ。ジャジャーン！ 味噌登場。これポイントオーツ〜。で、この味噌を〜あ、まさ  
にこれがこの料理の味・噌(ウフツ)

静寂ー。

度会 あーごめんねえ。ちよつと料理に集中し過ぎちゃったわねえー。はいここで麵のボイルチェック。うーん、ちょうど程よいアルデンテ。この麵をおー一気にダィブ。男の手料理って感じでしょ？ 惚れるな惚れるな。からめからめてからまつてえー、そこに刻んだ大葉をトッピング。はいボンゴレミツソ、召し上がれ。

#### 度会の照明CO

のり そして、私は彼の一番のルーツを知るべく、会いに行きました。彼のお母さんに。お母さんとは何度かお会いした事がありました。娘が欲しかったというお母さんは私のことを息子の彼女としてだけでなく、自分の娘のようにかわいがってくれました。「あの子と別れちゃっても、ひとりでもいいからまたいつでもうちに遊びに来なさいね」印象的なお母さんの一言です。

母ちゃん 照明FI 息子の遠い九州の実家。その居間。

手には息子の小さい頃の写真が貼られた古いアルバムを。頭に老眼用の眼鏡をかけている。遠くから走って来ながら母ちゃんの声が聞こえて来る。

母ちゃん いやいやいやもうねー。最近では眼鏡がないと、なんにも見えなくてねー。あらやだ。どっかまた眼鏡を。あれだ、さっきお茶煎れる時に台所であまたこれ立ち上がるのが、ああ大丈夫大丈夫、よっこいしょういち。え？……（頭に手をやる）あららら、もうやーねー、そういうのは早く言ってくれないともう。（笑）

母ちゃん、眼鏡をかけて、写真を見て…。

母ちゃん これがね、生まれてすぐ何ヶ月だろ？ ほらおちんちんが。で、これはちよつどハイハイし始めた頃でね、もうハイハイが早くてね。「はいおいでー」って言ったらもの凄いスピードでね「アハハハ」って甲高い声で笑いながらすっ飛んで来るの。もう、その笑い声が今でも耳の底に残ってるわね。そう、これが遊園地に連れて行ったらちよつどフラワーフェスタっていうお花のね、お祭りがあってね。そのミスフラワーフェスタのキレイなお姉さんにだっこしてもらってるの。あの子は小さい頃からスケベでねー。スケベだったでしょー？ 抱っこしてくれるお姉さんのおつ

ばいをムンギユって揉んじゃうのねー。で、それも決まって綺麗な人だけなの。ほら私のおっぱい吸って育ったから、綺麗な人のしか触らないの、だからムンギユと行くか行かないかで、綺麗か綺麗じゃないかが分かるの。(笑。アルバムをめくりながら) このあたりはいいか。

これほら、お兄ちゃんと。これがお兄ちゃんと映った最後の奴。うちほらお兄ちゃんを早くで亡くしてるでしょ？ だから普通は上の子の写真が多くて二人目になると減るっていうのがね、うちは違くてね。この頃までのが少なくて、こつからあの子の写真が多くなっていくの。

今はね、便利になってビデオカメラでね映像に残すことが出来るからね……。でもあれも考えようだね。あまりにも鮮明に忠実に残っちゃうと、それは「思い出」じゃなくなっちゃうのね。「(アルバムをめくり)「初めてたっちした時の思い出」「七五三の時の思い出」「入学式の時の思い出」……。

お湯が沸いて湯沸かしポットの笛が小さく鳴り始めるSE

母ちゃん　でもね、悲しいのはその思い出もね、歳取るとこのアルバムと一緒にね、すこしずつだけどやっばり色あせちゃう。……そう、最近、物忘れがひどくって。

のり　あの、お湯が。

母ちゃん　(手を叩いて)湧かしてたの忘れてた！(飛んで行く母ちゃん)

母ちゃん　照明遅れて早目のFO

彼が物思いにふけている。

のり　どうしたの？

彼　ん？　どうもしないよ。

のり　彼が残していったあんな物。こんな物。なかでも彼女の話しはなんともかんとも意外な「彼の残し物」でした。

みえこ照明FI　公園のベンチ。

みえこ、ウクレレを持って座っている。ポケットから紙を取り出しのりに差し出す。

のり それは彼が書いたポエムでした。

彼 ポエムではない。

のり じゃあ？

彼 ……落書きだよ。

のり 私と彼は一度別れた事があります。些細な喧嘩が大喧嘩へ。それこそさっきの話じゃないけれど、包丁を持ち出さんばかりの大喧嘩でした。私は彼がいない隙に荷物をゼー……んぶ運び出しました。元々、私の物が多かったんで、彼の部屋に残ったのはテレビに卓袱台、レコードプレイヤーに冷蔵庫くらいなもんです。そのポエムは

彼 落書き。

のり 落書きはその時に書かれたらしく、近所のスーパー山田屋のチラシの裏なんかにか書かれた、なんとも恥ずかしい内容でしたが、私にとってはなんとも嬉しい落書きでした。そしてその落書きに彼女は素敵なお曲を付けてくれたのです。

みえこ、ウクレレをポロロンと弾く。

中迫 よしよし！ じゃあ行くぜ！

すぐに中迫が登場し、みえこの前に立ちはだかる。みえこ、ゆっくり退場。

中迫 (紙を広げ) 『へブンに届けレクイエム』これタイトルね。

彼 邪魔入っちゃった。

中迫 ごめんね。本当は演奏して聴かせたかったんだけど、なんか、メンバーみんな帰っちゃってさ。じゃあ行くぜ。奴のために俺が書いたレクイエム。鎮魂かん。ちんこん

彼 鎮魂かん？ちんこん

中迫 聴いてくれ。

のり 「鎮魂歌」ちんこんが って言いたかったんでしょ。

彼 ああ。

中迫 『へブンに届けレクイエム』(咳払い)

中迫 「魂を揺るがす熱い情熱が 今、俺のハートにテキーラサンライズ  
ロックだなあ。(頷くのり)

中迫 乾いた唇は乾いた大地 すぐに潤せ オアシスヒヤシンス

彼 ん？

中迫 あいつの鼓動がストップ と同時にあいつの呼吸もストップ

鼓動と呼吸がダブルストップ 知らされた俺は歩道橋

鼓動 呼吸 歩道橋 急に孤独な歩道橋 結構 急遽 歩道橋

気付けばテキーラサンライズ マンハッタンオブテキーラサンライズ

彼 東中野で飲んでたんでしょ？

中迫 あいつがオレツチにくれた物

彼 ん？

中迫 キリンのドクロのネックレス

彼 あげてねー。

中迫 あいつがオレツチにくれた物

彼 これ、パクリだよな？

のり うん。

中迫 真っ赤なブーツのスニーカー

彼 どっち？

中迫 あいつがオレツチにくれた物

彼 これ、訴えられたら

のり 負けるね

中迫 セックスピストルズのベスト盤のCD

彼 ごろ悪。

のり あげたの？

彼 あげてない。

中迫 切りがない 切りがない あいつとの事 切りがない

切りがない 切りがない キール ゲッタ ナイツ キール ゲッタナイツ

今夜はキールを飲み干そう。 カシスと白ワインをほどよく混ぜ合わせ」……ここシ

エイクの方がいいなあ。

彼 今、反省するなよ。

中迫、座ってポケットからペンを取り出し書き直す。

中迫 カシスとキールをほどよくシェイク そしたらブギーな胸騒ぎ

揺れる思い 負けしないで どんなときも

最後に愛は勝つ そうそれがいちばん大事

のり　いい歌だね。

彼　どこがだよ。

のり　そして、カラオケボックス。

彼　カラオケボックス？

翔に照明C I　手にはハンドマイク。

翔　おや。あれだね、誰かに似てると思ったたらさあー、オイラの初恋の相手だ。

彼　出た。

翔　スマイルプリーズ。照れた笑顔がまたよろしい。目かな？　目が似てんのかな？　（手を当てて双眼鏡にして）よく見せてよロックオン。……あんまりこういう事、オイラ、女性には言わないんだけど……（マイクで）かわいいね。（すぐにウインクして立ち上がり、ボックス内の受話器を手にする）

彼　思いつきり口説かれてんじゃないか？

のり　知っての通り、私、この手のタイプダメだもん。

彼　って割には二軒目、付いて行ってんだろ？

のり　誰かさんじゃないけど、無理矢理連れてかれたんです。

翔　あ、すいません。えっとー、（のりに）甘いの平気？　ハニートーストと……お新香の盛り合わせ。一個一個のワンワンで。（座って）……で、なんだっけ？　あ、そうそう、奴との思い出第2章ね。……んー、あ、そうそう、男五人でデイズニールランドに行った時に、そうイツアスモールワールドで……（急に悲しい表情に）  
おー、どうした？

翔　ごめん、イツアスモールワールドでの別の辛い記憶を思い出しちゃった。（マイクが一瞬ハウリングする）

彼　ええー……そうないよね、イツアスモールワールドでの悲しい思い出。

翔　ん？　いや、いい、いい。男はそういう姿は見せるなって、うちの家訓でさ。

彼　あの顔で「家訓」って言うとな面白いね。

翔、　ガラスの氷を溶かしてクイツと飲み干して……。

翔　実は

彼　しゃべるんだ。

のり　しゃべってた。

翔 オイラも一年前に、彼女を交通事故で亡くしちゃってんだ。  
彼 うわー出たー。そういう作戦かー。

翔 そう考えるとさー、偶然にもさー、同じ痛みをさー、僕らはさー、抱えているんだね。  
スマイルプリーズ。(のりを見つめて) 手貸して(手を握って) ……もし、もし君が嫌  
でなければおう、お新香早いねえ。(店員が持って来た)

翔の照明C O もみじの照明C I

もみじ もみじに彼、ホの字だったんじゃないかなあ。

彼 まだ言ってるよ。

もみじ あ、でも彼女さんがいるって話しはしてくれたのね、ちゃんと。で、一度相談された  
事があったて。

彼 え？

もみじ 「彼女の誕生日に何か送りたいんだけど何がいいと思いますか」

彼 あっ。

もみじ って？

のり したの？

彼 しん？ したような……したような。

もみじ で、ほら私って誕生日にプレゼントって結構もらう人じゃないですか？ で、私が喜  
ぶ物を教えてあげたわけ。まあベタすぎて女性なら間違いなく100パーみんな持つ  
てるけど(笑) シャネルのポーチ？ パイルクラッチだったり？ ちなみにパイルク  
ラッチだったら日本未入荷のアニマルパイルとかをわざわざ用意してあげると彼女も  
喜ぶと思うよーって話したらなんかマジメな顔で「そういうのは好きじゃないんで、  
そういうのじゃない奴で何かないですか？」って聞いて来るのね。で、私はもう、意  
味が分からなくて、そういうのもらった方が嬉しいに決まってるじゃないですか？  
女性って。「バラの花束もらっても所詮いつかは枯れちゃうし、手紙なんでもらっても  
読んで丸めて直ぐにポイじゃん？」って話してあげたの。そしたらまたしばらくして  
お店に来て「こないだはありがとうございました」って。で、「結局、プレゼントは何  
あげたの？」って聞いたたら「もみじさんの意見を参考にして手紙にしました」って。  
全然参考にしてなくて…。「手紙にはなんて書いたの？」って聞いたたら

のり・もみじ 「これからもよろしく」

もみじ なんかねー…素敵だと思った。…だからあれからはお客さんから「プレゼント何  
がいい？」って聞かれたら「手紙」って答えるようにしてるの。現にほら今日もお手

紙、まあ、ファンレターかな？ もらったの。

出した手紙の封筒が思いっきりシャネルのマークの便せん。もみじの照明F0

のり 覚えてる？

彼 ん？

のり その手紙。

彼 うん。

のり あと、年齢分のバラの花束。

彼 あれは……自分でも柄でもないって思ったけど、喜ぶかな？ って。ウケるかな？ っ  
て。

のり ウケた。

彼 うん。すげーウケた。

のり 1、2、3、って数えて行ったら、24、25、26、27？ 28？ 29？ 3

0、 31って。……押し入れに一日隠してて、温まったつぼみが開いて、私、

39歳

になっちゃって（笑）……。あれは……笑った……。

るみ、まみ照明F1

沈黙ー。

るみ 覚えてるのは合コンの席なのに彼女の話をしだして……。ま、「彼女がいる」って合コ

ンで口にするってのは「彼女がいるけど、もう別れを視野に入れてる子」か、単純に

「セフレ目的」か、ワンデイだけの「ワンナイト火遊び」か……ね？

まみ う？（ん？）

るみ で、私も最初はある顔して「計算してんじゃないの？」って思ってたら

まみ うん、思ってたあ。

るみ どうやら、ちがくて。

まみ 違ったあ。

るみ なんか彼女さんと大喧嘩したあの、誕生日に手紙を書いたあの、年齢分のバラを送っ  
ただの、気付いたらうちら普通にのろけ話聞かされてて。

まみ 聞かされたー。

るみ まあ、でも私達はその合コンでしか知らないから、その後も連絡取ってないし、彼の

印象って言っても、その時の印象しか……ね？

まみ、私は何度か連絡取ってて。

るみ、???

まみ、なんか、まみがすっごく落ち込んだ時があったって、まみって落ち込んだじゃうとすっごく落ち込んだじゃう人なのね。涙もろいし、へこみやさんだし、寂しがりやに甘えん坊、おつちよこちよいがたまに傷、テへ。で、最初にメールしたのは全然別件だったの。DVDプレーヤーを買った時に配線とか分からないから、私、あーいうの苦手だから、メールで教えてもらったの。「その線をどこどこに差し込んでごらん」って来たから「したよ」送信。「そしたら次はこれこれこういうコードある？」って来たから「あるよ」送信。そしたら「そのコードを右から2番目の」

るみ、それ凄い時間かかるよね？

まみ、うん、かかったー。……で、結局分からなくて。「今から来てくれませんか？」

るみ、え！？ そしたらなんて？

まみ、「ゴメン、今は無理……ペコリ」

るみ、絵文字だ。

まみ、いや、デコメ。

るみ、うん、どっちでもいいけど。

まみ、なんか、こうやって土下座してるデコメ。

るみ、(遮って)うん、いいから。で？

まみ、で、私、ずっとお兄ちゃんが欲しかったから、私にとってはお兄ちゃんみたいな存在だった。ね？

るみ、……うん、まあ私は違うけど。まあでも、まみもちよとしたメル友っていうくらいで直接その後、ふたりで会ったとかは……ね？

まみ、うん、一度代官山のカフェでお茶したことがあって。

るみ、あったんだね。

るみ、まみ照明CO

のり、絵文字なんて使うんだ？

彼、なんにもやましいことはない。

のり、代官山なんて行くんだ？

彼、なんにもやましいことはない。

のり、今更やいても仕方ないんで、なんにも気にはしていません……。

まみ照明 C I まみの声にリバーブがかかって…。

まみ 「好きになったら迷惑ですかあ？」

るみ、まみ照明 C O

彼 言われてないから。勝手な妄想をするなよ。

もみじの照明 C I

もみじ 「もみじに彼、ホの字だったんじゃないかなあ。」

もみじの照明 C O

彼 だから違うって。

アザミの照明 C I

アザミ 「今夜はふたりで火遊びしよか？」

彼 だから！

悪魔の格好をした太田さんの照明 C I

太田さん ……。

太田さんの照明 C O

彼 え、誰？ 今の、悪魔？ 悪魔？

のり 「さあ」と首を捻っている。

彼 ええ？…って言うか別にさあ…俺の話しを聞きに行く分には一向に構わないけどさー、勝手な妄想や空想はしないでくれる？

のり しちゃうの。

彼

……。

のり

勝手な妄想や空想しちゃうの。あの時、どう思ってたんだろう？ あの時の事、本当に許してくれてたんだろうか？ あの時の笑顔。あの時の涙。いろんなあの時が私の胸を締め付けるんだよ。

彼

……。

のり

いろんなあの時。

重村先生

あの時はね…。

重村先生が話して行く中、照明 F I

重村先生

あの時はね、いやあ驚きましたね。放課後、彼がひょっこり私一人っきりの職員室に顔を出しましてね。いや、大抵の子なら来ないんですよ。「学校で吸いたくなったらここに来なさい」と言ってもね。彼はよく吸いに来ましたね。ちょうどこの職員室と同じ様に、窓からグラウンドが見えた。陸上部がこれでもかといわんばかりに大地を蹴り、野球部が白球という名の青春を追いかける。その風景をね、私と彼は三階から眺めるんです。たゆたう煙が、少しでもだけ開けた窓から入って来る風に押し戻される。煙を外に出すつもりで開けた窓がね、グラウンドの青春に押されてふたりをけむに巻く。

チャイムの S E

重村先生

彼が突然聞いて来た。「先生の将来の夢はなんですか？」……言葉に詰まったのを覚えています。すぐに答える事が出来なかった。私は小さい頃から本当は絵描きになりましたかった。誰にも縛られないで自由にのびのび、自分の絵を描きたかった。教師になるだなんて考えてもなくてね。……「生徒の、夢の架け橋のほんのお手伝い」なんて言えば聞こえはいいが、美術の教師なんてものは生徒を美大に受からせるためのちよこざいなテクニクを教えるためにいるようなもんなんですよ。……定年を前にね、一度教師を辞めようと思った事があるんですよ。妻に先立たれましたね。恥ずかしながら自暴自棄。でもね、その時にね、ふと思いついたんですね。彼の「先生の将来の夢はなんですか？」って言葉をね。その時、決めたんです。私の夢！「生徒の夢の架け橋……ほんのお手伝い！」……。もし良ければ、生徒たちの絵を見て行ってくれませんか？

重村先生 照明 F O

のり 私にも聞いた事あったよね？

彼 ん？

のり 「夢は何？」って。

彼 ……。

のり なんて答えたか覚えてる？

彼、首を捻るような、頷くような…。

彼 なんて答えたんだっけ？

のり 笑点の座布団運び。

彼 山田君…。

のり うん。マジメに答えてたら…マジメに答えてたら

めぐみ、せいこ 照明 C I

めぐみ じゃあ、おめーはなんだよー。

せいこ うちね、お嫁さん。

めぐみ え？マジで言ってるの？

せいこ マジマジ。

めぐみ ぜってーやめた方がいい。

せいこ うっそ。

めぐみ 夜泣きとかはんぱねーし。

せいこ この子、子供いんの。ほらここ。

めぐみ そうそう万年臨月。

めぐみとせいこ、手を叩いて腹を抱えて大笑い。

せいこ (ようやく笑いが収まりながら) だから「まんねん」ってどういう意味？

めぐみ 「亀は千年、鶴は万年」

めぐみとせいこ、手を叩いて腹を抱えて大笑い。

せいこ 出来婚、出来婚。

めぐみ だからお主、違うつつーに。「さ・ず・こ・ん」

せいこ また出たそれ「さずこん」それ言やーいいかと思つて「さずこん」略して

めぐみ 「授かった結婚」そう、うち一児のママで子供にママって呼ばれてんの。ん？ 女。

名前？ ポトス。ん？ ポトス。字？ カタカナ。いやなんかー、今、変な名前多

いじゃん。だから、おばーちゃんになつても堂々と胸張つて年金もらえるような名

前にしたくてー、で近所の茶店で旦那と茶ーしばいてたらー、なんか植物があつて

ポトスつて。で、これ「ポトフ」みたいでいいんじゃね？つてなつて。

つーか、なんかそれ聞いたらやっぱ大変だなガキつて。

めぐみ バカ、大変だからかわいいよんだよ。(と、タバコを取り出す)

せいこ つか、まだ吸つてんの？

めぐみ ……。

せいこ やめろつつつてんの、何べん言わせんだよ。

静寂ー。

彼 ケンカ？

のり うん、でもね。

せいこ あつしに似てるよね。

めぐみ あつし？ 前彼？

せいこ うん、ポトフ、あつしに似てるよね？ ずっと思つてた。

めぐみ そう、なんかー、うちの前彼に似ててーあれもしかして？的な。ハーフ&ハーフ的

な？ 時期的にもひよつとしたらだぶつてるかもね的な？

せいこ 血液検査ダウン！

めぐみ つーか今、超少子化じゃん？

せいこ 少子化ー。

めぐみ 学校のクラスとか普通に4クラスとかあつたじゃん？

せいこ うち6クラス！

めぐみ それ中学だべー？

せいこ え？ 中学の話じゃねーの？

めぐみ 中学だったらうちも6クラスだったもん。

せいこ うっそ！？ つーか

めぐみ 同じ中学じゃね？

めぐみとせいこ、手を叩いて腹を抱えて大笑い。

めぐみ おねーさんは？ 中学の時、何クラスあった？……うつそ？

せいこ それ超多くね？

めぐみ だからそういうことだよ。

せいこ 超時代だ。

めぐみ おねーさんの時から考えてもそんだけどんどん減ってんだようちはこれからバンバ  
ン産むね。

せいこ え？ おねーさんは？ え？ 新しい男出来た？

めぐみ 出来た？

せいこ 出来た！

めぐみ あ、ぜってー出来てるでしょ？

せいこ うん、出来てそうな顔してるもん。

めぐみ このお、彼がいなくなってるからーの！

せいこ 乾いた心と体を誰でもいいから早く潤してのな！

めぐみ 出来たでしょ？

せいこ 出来た？

めぐみ 出来た？（のりに）

せいこ 出来た？（のりに）

めぐみ・せいこ 出来た？（のりに）

めぐみとせいこ 照明C O

彼 失礼だな。

のり でもね、その30秒後にはね。

めぐみとせいこ 照明C I

めぐみ 失礼な事、言っすいませんでした。

せいこ すいませんでした。

めぐみとせいこ 照明C O

のり 私達には結婚の話も全くなかったわけではありません。もし、プロポーズしてくれてたら……なんて事を考えてしまいましたが、「たられば」はやめましょう。でも、ふたりで子供が出来たらって話はよくしてました。名前も考えたりもしました。

北国の寒そうな風が吹くSE 六郎、詩織の照明FI 地元の喫茶店「りんご」

六郎 ー、名前はまだちゃんとは決まっていんだけどね。

詩織 まだほら男の子か女の子か分かんねから。

六郎 オラは男の子がいいんだけどね、こいつは女の子がいらしくって。でな、是が非でも男の子が欲しいオラとしては産み分け法つてのを実践してみたんだよな。

詩織 あんたそれは。

六郎 何をおめえ照れる事があるか？ 産み分け方法つてのがあって、なんかインターネットで調べたんだけども

詩織 こっちにもあんだよ、インターネット。

六郎 おめは……今、わーがさ話してんだから黙ってろー。

詩織 すまね。

六郎 つたっておめーは。……でな、インターネット曰く、産み分けるには、女性がイッタ時に

詩織 (遮って) つまりは

六郎 またおめは！

詩織 すまね。

六郎 静かに黙って聞く耳を持つて事が出来ねもんかあ？

詩織 あーほらまた怒られたー。

六郎 そら怒られるに決まってるべやー。

詩織 もう、怒られてばかりだよー。いつもこうだー。(のりに)

六郎 そりゃそーだ。おめ、今から5分黙ってろー、いいなあ？ 5分だぞ5分。5分黙ってろー。

詩織 (頷く)

六郎 返事はちゃんとしろー。

詩織 はいはい。ちゃんと黙ってる。

六郎 5分だぞ、5分黙ってろー。

詩織 (頷く)

六郎　で、なんて言うんだ？ その行為におよんでまって、女性が高まってまって、エク

……エクス……エクステ。あれはなんて言うっけか？（詩織に）

詩織　（「オラ、喋っちゃいけねから」というアクション）

六郎　（大笑い）おめ、バカだろ？　今、質問してんだから、今は喋れよ！

詩織　（だっておめさが5分喋んなって言うから）

六郎　え？「だっておめさが」「5分」「喋んなって言うから」じゃ、いいから。一言だけ喋らせてやっから。エクスなんだっぺー？

詩織　「エクスタシー」（照れながら）

六郎　何、照れてんだおめーは。……かわいいなあ。

詩織　???

六郎　で、女性がエクスタシーに達した時にこうなんつーのかつまりはこのー発射をすると男の子が出来るっていうのがよ、インターネットで書かれててよ。

詩織　それも本当かどうかは分かんねーよ。この人のとこなんて男六人兄弟だから、その理論で言うとお父さんはこれまた相当なテクニシャンで事になるよこれ。

六郎　（ちよつと自慢げ）ん？（のりに）そう、オラ、男六人兄弟の六人目で六郎な。ん？一郎、二郎、三郎じゃねーよ。清孝、正、憲男、敦史、順也、六郎、もう最後でこれ

どうでも良かったんじゃねのこれ？（笑）……で、なんの話をしてたんだっけな？

詩織　名前名前。ワラシの名前。

六郎　あ、そうだそうだ。男の子なら健康に育ち、たくましく末永く生きて欲しいから、健康の「健」に「生きる」で「健生」けんせい女の子なら悲しい事無く、寂しい事無く、いつも笑顔を絶やさないコでいて欲しいから「微笑み」の「笑み」で「えみ」こ

れはまだ

詩織　字がな、決まって無いんだけども。

六郎　まあなあ、とにかく丈夫に産まれて来てさえくれればそれで十分だあ。

詩織　うん。

六郎　（詩織のお腹に顔を近付け）健生君かなあ？えみちゃんかなあ？

詩織　おめえ、こんな所で何が始まるだあ？

六郎　いいから。まだ時間はたっぷりあるから、じっくり考えるけど、いい名前付けて待ってるからなあー。健生君かなあ？　えみちゃんかなあ？　健生君かなあ？　えみちゃんかなあ？

六郎、詩織の照明F O

暗くなつて行くその中、詩織が六郎の頭を撫でる。同時に二人の声もF O

のり  
みなさんは好きですか？ ご自分の名前。小さい頃は嫌いだったけど、今は好き。  
未だに嫌い。ありがちな名前の人は個性的な名前に憧れ、個性的な名前の人は普通  
の名前に憧れる。「隣の芝生はなんとやら」……ただ、言えるのは、皆さんも産ま  
れる前に、あのふたりのような会話がウン十年前に、お父さんとお母さんでされ  
たって事。好きですか？ ご自分の名前。(福ちゃんの方に)

#### 福ちゃんの照明C I

福ちゃん  
好きなわけがない！ どうポジティブに考えても好きになれないよ。だから名前聞  
かれたら「あ、どうもー福井です」って極力名字で終わらせようとするもんね。で、  
「下は？」って聞かれたら、まあ聞かれたら……「福井謙です」って。「福井謙です」っ  
て。福井県だよ！ 病院とかでもさあ「福井さーん、福井謙さーん」……「福井謙  
さん」だと「福井県産」だからね「福井県産」の……なんだよ！？ みたいな。「福  
井県産の……こしひかり」みたいな。で、病院だと「福井謙さーん……レントゲン  
です」って。周りびっくりだよな？ 「ああここの病院、福井県産のレントゲンなん  
だよ？」ってね。(笑)

面白かったら笑っていいんだよ……。いや、「へー」って感心されると、余計寂しい  
からさ。でもこれが「神奈川謙」だったらいいよねえ。「名前は？」って聞かれたら  
「神奈川謙です」ってさ。なんかこう、湘南の風が吹いて来そうだもん。だって「福  
井謙」だよ。若狭湾の風だけ。人によってはさあ、「お久しぶりです、えっと……  
福島さん、あ、違った……、ふう……くおかさーん」って「惜しい」県違い。勘違い  
ならぬ、県違い。分かった？ 「勘違い」と「県違い」をかけてみたんだけど。「勘違  
い」「県違い」「勘違い」「県違い」。(笑)

ペテカンではあつてはならない凍えるような空気がRED/THEATERに、そう、赤坂に充満する。

福ちゃん  
面白かったら笑っていいんだよ。……あいつはね、あいつはこういうギャグ好きだ  
ったんだ。きっと、天国で腹抱えて笑ってると思うよ。

のり  
てよ。

彼  
(わざとらしい乾いた笑い)

福ちゃん  
(照明F Oして行く中……) さっきの「勘違い」と「県違い」をかけてみたんだけど。

アザミ 照明C I

アザミ

彼と結婚の予定なかったん?……あーさようか。じゃあまだな、良かったんちゃうん? いや、そりやそうやで、結婚の予定あったらそりや大変やわ。うちの親戚の友達の知り合いなんて結婚式当日に「ほなウエディングドレス着ましょかー」ゆうて椅子から立ち上がったら目眩して倒れてそのまま帰らぬ人や。それに比べたらあんたまだラッキーやん。婚約してたん? でも一緒に住んどったんやろ?……まあなあ、今、女性の初婚平均年齢いくつか知ってるか? こないだミヤネ屋で言うてたわなんと……28、6歳。対して男性の初婚平均年齢は30、4歳。年々たこーなってるやてーってそんな事言われてもなー、こちかてかなわんわ。出来るもんならとっくにしてるーちゅうねん。とっくやちゅうねん。そう! 最近な、やっぱこれやと思うねん。耳の穴かっぱじってよう聞きや。ずばりっ!

アザミ、 照明C O クロスして度会の照明C I

度会

(ワイングラス片手に) 小さい頃って宝箱ってあったじゃん。無かった? ボクはクッキーの缶をね、宝箱にしてね、そこにメノコやら水鉄砲やいろいろーんなおもちゃをね、詰め込むの。宝箱。そしたらさ、小二の時、学校の帰り道でゴミ捨て場にすんごい宝物を発見。なんだと思う? エロ本。家まで全速力で走ってさー、で、誰にも見付からない様にクッキーの缶の宝箱に入れようとしたら……入んないの。エロ本大きくて。で、勉強机にひとつだけ鍵がかけられる引き出しがあってね。すぐそこにしまったの。……あつたよね、子供の頃って。そういう宝箱……宝物。どこにやったんだろ? どこに行っちゃったんだろ?

度会の照明F O 母ちゃんの照明F I

母ちゃんは古いクッキーの缶を空けて……。

母ちゃん

これは何かしら?……ん? キン肉マン? ああ、キンケシだ。あの子よく言うてた。「キンケシキンケシ」って。なんなのキンケシって……ああそう? キン肉マンの消しゴムでキンケシね。なるほどねー。これは何かしら? ビックリマンシール? ああ、よく買ってた買ってた。ビックリマンシールねー。

息子の小さな頃の宝箱をあさりながら……。

母ちゃん そうそう、あの子が小さい頃にね、うちの食器棚にね、友達とシールをいっぱい貼っちゃってね、それで私、すっごく怒ったの。私の嫁入り道具で大事にした奴だったからね。「今すぐ、はぎなさいい！」って。そしたらあの子、もう、塩で溶けてくナメクジみたいにシユンとしちゃって。あの子と私、ふたりで並んでシールをはいだ。私にとつても大事な食器棚だったんだけど、あの子にとつても大事なシールだったんだろうね。ふたりで泣きながらシールをはいだ。シールのネバネバがなかなか取れなくてね。で、はいだシールはボロボロでしょ？ で、見たらあんまり悲しそうな顔してるから千円やって「ほら、買えるだけ買っといで！」って。それしたら、ベそかいてたくせにもう、ケロッ！って。「うん行って来るよ」って。あの時の笑顔が忘れられなくてね。急いで自転車飛ばしてった。うれしそうにうれしうに自転車飛ばしてった。

母ちゃん・のり うれしそうにうれしそうに自転車飛ばしてった。

交通事故のS E 同時に母ちゃんの照明C O

のり その日も、あたし達はケンカしちゃってた。私は職場でやな事が続いたり、生理前だったりして帰宅してすぐに彼に愚痴っちゃった。「うーん、うーん」と空返事な気がして「ちゃんと聞いてよー」って言ったら「ちゃんと聞いてますよ」なんかその言い方が嫌で、なんかその瞬間が嫌で、言いたくなかった事を口にしちゃった。

彼 「私ももういい歳なんですが嫁には誰がもらってくれるんですかね？」

のり すぐに「何言ってるんだ私いー」悔やんだ。悔やんだのに何も答えない彼の後ろ姿がこれまた嫌で

彼 「私の青春返しやがれえー」

のり ぽつりと呟いたのは小雨の降り出した夕暮れ時。一個ついた導火線は無数に広がるあみだくじ。あちらこちらに広がって行く。

彼 「何、突然」

のり 「無駄な電気付け過ぎ」

彼 「じゃあさあ、言わせてもらおうけど」

のり 「私は忙しいの」

彼 「昨日だっけさ」

のり 「こないだだっけ」

彼 「俺は俺なりに」  
のり 「またその話？」  
彼 「じゃあなんでその時に」  
のり 「イライラしないでよ」  
彼 「溜め息つくなよ」  
のり 「そこを直して欲しいの」  
彼 「また同じ事の繰り返しじゃんか」  
のり 「じゃあその時に言つてよ」  
彼 「そんな言い方してないだろ」

雨のSE

のり ヒートアップする感情に合わせる様に、天気雨にして通り雨だと思われた夕暮れの雨は勢いを増し、夕闇を残しながらの夕立ち。9年も付き合つてると、こういう時の自分の気持ちの対処法も分かつて、彼はテレビゲーム。一番イチロー、4番に全盛期の清原、ダルビッシュに古田がバッテリーという夢の最強オールスター野球チームを作り、広島カープとかをボロボロに打ち負かす。私はお気に入り薄焼き塩せんべいを食べながら料理本をチェック。「あーここのパスタおいしそーもぐもぐ」「あー盛岡で本場の冷麺食べてみたーいもぐもぐ」すっかり食べた、幸せな気分になる。

のり 彼が二試合、そして私が冷麺ならぬ、塩せんべいでお腹を少しだけ満足させ、さてと少しは体を動かさねばとカーペットにコロコロをかけようとする頃、彼が決まって先に折れる。

みえこが登場して座る。みえこへの照明、ぼんやり照らす。

彼 「なんか、ごめんな」  
のり 「私もごめんね」  
彼 「今夜は俺が晩飯作るよ」  
のり 「いいよ、昨日の残りがあるから」  
彼 「いいから俺に作らせてよ」  
のり 「昨夜のひき肉で私が適当に作るから」  
彼 「大丈夫任せて任せて」

のり 「雨降ってるよ」

彼 「傘持ってた」

のり 「気を付けてね」

彼 「うん、気を付ける」

のり 「行つてらっしゃい」

彼 「行つてきます」

のり そして彼は

彼 「あんまり怒ると……シワ増えちゃうよ」

みえこがポロンとウクレレを弾く。

のり そう言うと笑つて彼は出て行つた。うれしそうに、うれしそうに自転車飛ばしてつた。

以下、のりの台詞のバックにポロンとウクレレが入る。

のり そしたら、そしたらね。なかなか帰って来ないんだよ。急いで出たから携帯も持つて行つてなくてね、前もケンカした仲直りになって私の好きなガーベラを一輪買って来てくれた事があつたからね、だからきつとまた私を驚かそうとしてるんだなって。私はね、カーペットにコロコロかけて、せっかくだから昨夜の残りのご飯じゃあれだなくてジャーのご飯はラップに包んで冷凍庫に入れてね、買ったばかりの無洗米を、無洗米だけど、ちよつとだけ研いでタイマーを押して、で、タイマー押してから気付いたんだけど、もしかしてパスタとか彼の好きなカレーうどんだったらどうしよう……彼の好きなカレー（彼）うどんだったらって（笑）そしたら炭水化物祭りになっちゃうって思つて電話したの。その時に気付いたの、携帯が部屋でなくて、彼が携帯を持って無かつたことに。彼の携帯を見たら私からかかってくると私の変顔が映し出されるようになってね。随分前に酔っぱらつてふざけて撮つたこーんな顔。（変顔をする）知らなかつたからビックリしたの。よりによつてこれですかと。そしたらね、私、気付いたらソファでうたた寝しててね、目が覚めたのは家電がなってからだった。彼、お財布しか持つて行つてなかつたから、お財布の中にあつたね、電話代金のお客様控えでかかつて来たの。すぐに留守電になつてね、そしたら変な事を言うのね。

警察が留守電に吹き込む声

「えーこちら新宿警察署です。えー椎原道也さんのお宅でよろしいでしょうか？ えー、ご家族かどなたか一緒に住まれている方はいらっしゃいませんか？ 椎原さんが交通事故に遭われまして今から言う病院に搬送されました。えー」

その警察の留守電の声が小さく流れる中、のりはしゃべり続ける。

のり  
意味が分からなくてね。寝ぼけてたのもあったからね、そういえば変な夢を見た気がして、夢の続きにしては随分悪趣味だなーって思ってたね、いつの間にか炊きあがったご飯のいい香りが部屋中に充満してて、なんか、何していいか分かんなくてね。ジャーを空けてしゃもじでご飯混ぜたりしてね「あーあ、炊きたてじゃなくなっちゃったな」って。それからようやく部屋を出たの。ガチャ。すぐに携帯を持ってない事に気付いたからね、自分のと一応、彼のも持ってね。彼は部屋の鍵を持たずに出たから、もし先に帰って来た時のために、いつもそうするように、ポストの中に鍵を入れてね、うちの前の結構急な坂を転ばない様にゆっくり下ってね、バイク屋を左手に曲がって、曲がるとすぐにふたりでよく行った味噌次郎っていうラーメン屋さんがあってね、彼はその味噌そばをご飯が好きでね、右手には熊野神社。更に見上げると都庁がこれでもかっけくらいにそびえ立ってるの。神社と高層ビルがなんとも不釣り合いでおかしくてね、赤ホルモンの一寸法師、いきつけのドラッグストアー、ばばす。そしてすぐに熊野神社前交差点があるの。で、なんかその交差点で事故があったみたいでね、目の前にある交番から警察が行き来してるの。自転車がペしゃんこになって、車輪なんて丸じゃなくなって三日月みたいになってね。本当はそこを右に曲がった方が病院には早かったの。でもね、なんか多分、ぼんやりしてたの。そのまま十二社通りをまっすぐ歩いてね、そういえばいつの間にか雨はあがってね、秋の雨上がりの夜風が気持ち良かった。ふたりでいつか入ろういつか入ろうって言いながら結局入らなかった無双っていうラーメン屋があってね、しばらく歩くと今まで気付かなかったけど、ちよっとしたお稲荷さんがあったから、お参りしてね、この時、携帯はもって出たけどお財布を持って出なかった事に気付いてね、だからお賽銭入れれなくてね、なのに願い事してね、きつと、お賽銭入れなかったから叶わなかったの。で、成子坂を下を右に折れてね、右手からは高層ビルが私を見下ろすの。青梅街道を新宿方面へ。ゆるやかな坂を早歩きでね、雨上がりで急ぐ車の走る音がザーって響いてね、そして、なんか口の中で血の味が広がってるのに気付いてね、なんか、なんか知らないうちに下唇をかみしめてたみたいでね。自分でも「えっ？」って驚いてね。

地下鉄西新宿の駅を右に曲がるの。迷うかと思ったけど、救命救急センターって大きな看板があつてね、大泉 洋並の天パのおばちゃんに案内されたの。そしたらね、そこにはね、包帯でグルグル巻きになった彼がいてね……嘘だよ、彼は白いお気に入りの無印のシャツを着て出かけたはずだよ。同じ白でもグルグル巻きじゃないよ。ダンブの運ちゃんね、赤信号の中、突然自転車で彼が飛び込んで来たって。自殺行為だって激怒。自転車のカゴにはカレーうどんの食材が入ってたって。でね、信号を渡って右に曲がれば花屋さんがあるの。事故があつた時間と照らし合わせたらね、花屋さんのシャツターが下りる時間だったの。

そんなの……そんなの本当は私、ガーベラなんて別に好きじゃなかったのに。女の子らしいからいいかな？ っけ付き合い始めの頃に言っただけなのに。嘘なのに、ガーベラなんて好きじゃないのに！  
信じたくなかったけど、やっぱり包帯でグルグル巻きになってたのが、彼だったんだね。

みえこのウクレレの音色が印象的に止まる。照明、一気に明るくなる。

そこに、悪魔の格好をした太田さんが登場。みえこ退場。

太田 えー初めまして。

彼 誰？

のり ああ。

太田 えー私、

彼 悪魔。

太田 (「そうそう」) テレビとかでね、見たことあるぞーって人もいますけどもね、えー、私が悪魔です。

のり 彼は私の中の空想上の生き物です。

彼 えー。

太田 私、こういう者です。

名刺を彼に配る太田。

のり 彼がこの世を去ってからというもの、  
彼 (名刺を受け取り) あ、どうも。

のり 私は神様なんていないんだと、その代わりに、悪魔がいるんだと思う様になりました。

彼 「オフィス悪魔 制作販売事業部副部長」肩書きがよく分からない。

のり で、悪魔！ 今日とは一体全体何なの！？

太田 グワハハハハ（悪魔らしい笑い声）何なのも何も……どうだ？ 心の傷は癒えたのか？

のり 心の傷？ 心の傷なんてそう簡単には癒えるわけじゃないじゃないの！

太田 もういいだろ？ 奴のことなんか忘れて新しい恋を試みるのも。

のり 何を言ってるの！？ まだそんな簡単に彼のことを忘れることなんて出来るわけ無いでしょ！

太田 な〜に、もう大丈夫じゃ！ 彼もきつと許してくれる。

のり これだから悪魔！ 悪魔は女心が分かってない。女心はそんなに簡単な物じゃないの。

太田 「女心と秋の空」と言いましてな〜。さっきまでの曇天模様が嘘の様気が付けばほら、覗いた晴れ間がグングン広がり、辺り一面の晴天に。

のり その晴天にまた突然鳴り響く稲光がアタイは怖い。

太田 ほー、晴天の霹靂とでも？

のり ええ、そうよ。

太田 そんな事を言ったら君のためには

のり 何？ 私のためって？

太田 彼のためにも

のり 何？ 彼のためって？ 何？ ねえ、何々！？

太田 落ち着いて！

のり 私なんて、私なんて一生、ひとりぼっちなんだわ！

太田 バカなことを言うんじゃない！

太田がのりをビンタする。（黒子が出て来てビンタの音）

彼 何なんだこの茶番は？

のり 無理よ無理、「新しい恋」……そんなの……無理。

太田 どうして？

のり だって……。

太田 まさか、まさかまさか……未だに好きなのか？ 彼のことが忘れられないのか？ 忘れたくても忘れられないと言うのか！？

のり （下唇を噛み、遠い空を見上げる）

太田 よーし……ならば奴のことはきれいサッパリ忘れさせて新しい恋に目覚めさせてやる

うではないか！

太田、指を鳴らす。雷が鳴る。

太田　グワハハハハ！　グワハハハハハ！「いやー参った参った。突然の雷雨。あやうくびしよ濡れになるとこだった。さてと、いつも携帯している折りたたみ傘をと……」

太田とのり、わざとらしく目が合う。

太田　あのー。

のり　はい？

太田　良かったらこれどうぞ。

のり　え、いや、でも。

太田　いや、うち近いし。それにちよつと、なんだか今夜は雨に濡れたい気分だし。じゃあ、気を付けて。お先に失礼！

のり　え、せめて、お名前をー。

太田　（振り返り）名乗る程の者じゃありませんよ！

のり　……ありがとうございます。

颯爽と去って行く太田。のりは太田が去って行った方を見ている。

彼　茶番にもほどがあるよ。

そして再び現れる太田さん。

太田　グワッハッハッハッ！

彼　また来た。

太田　どうだ？　恋に落ちたか？

のり　全然。

太田　えー。

のり　いろんな場所で、いろんな思いで。

照明C I 太田、退場。翔、福ちゃん、中迫の三人が登場。

翔 んーどうだろう？

福ちゃん 歌えるかな。

中迫 ちょっと、俺らしくないけど。

のり 不思議な現象、不思議な光景。

三人それぞれ、カラオケボックスで曲を探すマイム。

翔 あ、あーあー（ノドの調整）

中迫 （咳払い）

福ちゃん ごめんね、なんか場違いかもしれないけど。

翔 おーあつたあつた。

福ちゃん 23ーBの

三人 258と。

中迫 俺のマブダチに捧げます。

カラオケで、『千の風になって』が流れる。それぞれ、マイクで同時に歌う。

曲が進むにつれて、六郎、度会、重村先生、そして、悪魔の太田さんに黒子も加わる。

カラオケはF O アカペラで真剣なコーラスに、真剣なゴスペルに。やがて素敵なハーモニ  
ーとなる。

男性陣、退場。重村先生が残る。

重村先生 「鳥肌」ってあるでしょ。こう、感動した時なんか立つ。先日、読んだ本にこう書いてありました。「鳥肌とは自分のDNAがそれを受けとめようとして起こる、神秘的なる自然現象」と……。私はね、彼が亡くなったという話しを耳にした時、その事実を受け入れたくなくてね、認めたくなくてどうしようもなかった。でもね、君から「彼の話をもんな事でもいいから聞かせて欲しい」って連絡があった瞬間、私は鳥肌が立った。それは君の思いがダイレクトに伝わって来たのと同時にね、ちやんと、彼の死を受け入れてあげなければという……DNAがね、きつと、そうさせたんだね。彼は天国でうまそうにタバコを吸ってるんじゃないかな。いつか、いつの日か、一緒に吸えるのが楽しみです。

重村先生の照明F O

のり　もうとつくに彼がタバコを辞めた事は言いませんでした。良かったかな？  
彼　うん。  
のり　そして意外な友情も生まれたりして……。

めぐみとせいこ照明C I　ふたりは携帯を客席に向け赤外線をしている。

めぐみ　行った？　ああ、良かった良かった。POTOSU MAMA' ポトスママ@docom.ne.jp  
ね。

せいこ　メアド、替えたら知らせろよてめー。

めぐみ　ねえ、今度マジでうちの子見においでよ、っーかマジかわいいよ。

せいこ　じゃあ一緒に公園デビューしようよ。

めぐみ　あ、それ超助かる。

せいこ　なんか公園デビューしづらいらしくって。

めぐみ　なんかうちら自分の子供に見えなさそうで、それはまるでお主、人さらい的な？

せいこ　分かる！　だつて取って食いそうだもん！

めぐみ　だから、ちよつとお姉さんとかいたらうちらも

せいこ　いや、ぜつてーごまけるよ。年齢的にも。

めぐみ　で、あれだ、公園デビュー後は自宅に凱旋して、鍋すんぜ。

せいこ　するっ！

めぐみ　言っとくけどうちが作る寄せ鍋超うまいよ。

せいこ　超寄せるしね。

めぐみ　寄せる寄せる。

せいこ　うちから具材持つてくし。

めぐみ　こいつんち、農家。

せいこ　農家つて言うなし。

めぐみ　農家は農家じゃねーの？

せいこ　ベジタブルファミリーつて言えし。

めぐみ　言わねーし。

せいこ　うちのおとー、脱サラしておかーと無農薬で野菜作つてんの、うちのトマト、イチゴより甘いよ。

めぐみ　家行ったら親子三人で野良仕事してんの。超微笑ましい。

せいこ　バカにすんなし。

めぐみ　してねーし。っーか爪こんだけど、うち、やっときはやっからね。

せいこ ていうかマジでやろうよ。  
めぐみ 公園デビューも。

せいこ で、公園デビューその後、  
めぐみ・せいこ 鍋会！

めぐみ あ、それいい。

せいこ じゃあこのコースね。アハッ！

めぐみ じゃマジでメールすんね。

せいこ ゼッテーだよお姉さん。

めぐみ 約束ね！

せいこ 約束ね！

めぐみ・せいこ 約束だかんね！

めぐみ、せいこの照明C O

彼 どうせ行かなかったんだろ？

のり 行ったよ。約束したもん。公園で、子供は遊ばないで、あのふたりが遊んじやつて。  
で、私がポストスちゃん抱っこして、「女の子ですか〜？」「ええ、そうなんですよー」  
って……なんだか私がつかり、ママ気分。子供、かわいかった。

彼 ……。

翔の照明 C I

翔 スマイルプリーズ。

彼 まだ言ってるの？

翔 ってさ、こんなキザーな感じで言ったら、その子、こう返して来たんだ。「マックじゃないからお金取るよ」って。

のり 私は彼の言う「オイラも一年前に彼女が事故で亡くなった」って話は嘘だと思ってました。

彼 え？

のり でも

翔 なんかさあ、そういう風に返して来た女の子が初めてだったから、驚いてさ。うちの店に来る子とかだと、みーんな普通に「スマイルプリーズ」すぐに「ニコリ」ってしちゃうからつまんなくて。っーか……一年で長いよね。いや、短かったのかな？ ど

つちだろ？　なんかさあ、みーんな気い使ってくれて、うれしんだけど、それが余計に苦しくてね。「時間が全てを解決してくれるよ」って。「忘れさせてくれるよ」って。こっちは忘れたいわけじゃないのにさ。なんか気い使ってくれて……そう、合コンに呼んでくれたりしてさ。行かないっての。行けないっての。……オイラものりちゃんを真似てあのコのいろんな話、聞きに行ってみつかないかな。あ、なんかごめんね。あいつの話聞きに来たのに、オイラの話ばかりしちやっさ。……よしっ！　ここん所、しばらく行けてなかったから、これからあのコの墓参り行ってくるわ。あ、じやあ駅まで送るよ。（最後だけマイクで）

翔の照明COクロスして詩織の照明CI

詩織　うちの旦那、いい男だべえ？　出会った頃はブラピに似てたんだから。ブラピ分かる？　ブラツトピツト。まあ、うちの旦那の方が若干いい男だけどね。（自分でウケる）おとさん遅いね。男のくせに便所が長いんだ。で、おめさの前では亭主闊白ぶってるけど、ふたりの時だつきや「ひざまくらしてくだちやい」って赤ちゃん言葉になんだから。（笑）あんな生まれたてのエゾシカみたいなつぶらな眼で見られたら、もうたまわなくてよー。あんたダメだよ、惚れちや。

そこに六郎がやって来る。

詩織　ああ、今のはこれ内緒で。

六郎　ハンカチがねー、ハンカチが。ああ、あつたあつた……何また余計な事しやべってたんじやねーのか？

詩織　そんなこたねーよ。なあ？

六郎　もう、おしゃべりでおしゃべりでどうしようもねんだー。

詩織　立ち上がる。

六郎　どした？

詩織　なんか、あんたが便所行ったら、わーまで行きたくなくなっちゃったでねーが。

六郎　なんで、俺のせいだおめー。

詩織　ていうか、レディーが便所行くのに対して「どこさ行くだ？」なんて聞かねでくれるか？　恥ずかしい。

六郎 バカ言うでねーよ、わーはただおめが突然立ち上がったから「どした？」って聞いただけで「どこさ行くだ？」なんて聞いてねーよ。おめ、人の話しちゃんと聞いてけー。  
詩織 (はけて袖から) ダメだ、もれてまう、ちびっと出たんだからー。

六郎 ちびっと出てるて……。もう、本当にやかましくて面目ない。……。まあ、でもいい女だべ？ 出会った頃だつきや本当に森口博子に似てたんだから。今はすっかり太っちまって、その面影もどこにもねーけどもな、まあ、太っちまったら太っちまっつてで、これはこれでかわいいんだけどな。おかあさんの便所がまた長いんだ。で、おめさの前では出来た女房ぶつてるけど、ふたりの時は「ひざまくらしてくだちやい」って赤ちゃん言葉になんだから。(笑) あんな育ち盛りの子豚みたいなつぶらな眼で見られたら、もうたまんなくてよー。毎日、惚れ直してんだー。

そこに詩織がやって来る。

六郎 ああ、今のこれだよこれ。(口の前に人差し指を立てて内緒と……) すぐうぬぼれるから。

詩織 おとさん。

六郎 どした？

詩織 あんたのうんこが全く流れてなかった。

六郎 おめ(自分で大笑い) おめ、バカでねが？ そげなこと、今、言う必要がどこにあんだよ！？

詩織 あーほらまた怒られたー。

六郎 そら怒られるに決まってるべやー。

詩織 もう、怒られてばかりですよー。いつもこうだー。(のりに)

六郎 おめはそういう所がダメだっであんだけ言ってるのに。

詩織 これからお墓さ、一緒に入るまで

詩織・六郎 なんべんあんたに怒られるかと思うと頭痛くなってくるわー。

六郎、詩織の照明 F O

のり すっかり、見せつけられちゃいました。

アザミ 耳の穴かっぼじってよう聞きや。ずばりっ！……「年下」や。昔はなー、若い頃はなー、あかん、自分で「若い頃は」なんて言うたら。今でも十分若いやんなあー。なんや、なんの話しやった？ おー、せやせや「これからは年下の男に限る」っちゅう話や。っーか、考えてみーや。いや、分かるで。年上のかっこええ男にリードされたいっちゅうもんや女は。たあだあな！……年上求めたら、もう40、50になっぺおっちゃんやん！ 恋愛ちやうわ、もはや介護やん。ボランテイヤやん。うちらが歳取るようにみんな平等に歳取ってんねん。時間は平等や。テレビで「あら、この子かっこよろしーなー」思う子はみんなもう年下やねん！ たあだあな！……うちら歳取れば取る程、若い子の幅は広がんねん！ 分かるかあ？ うちの言うてる事、分かるかあ？ おっちゃんをあかんよ、うちら歳取れば取る程、幅狭なんねん。これからはずばり！年下やで！……あかん、今のでおしっこちよつと出てもうた。(笑)……大丈夫やて……。あの子、いい子やったから、許してくれるて、きつと……。なあ、来週、医者との合コンあんねんけど、けーへん？

アザミの照明C O 中迫の照明C I

中迫がTシャツの袖をまくりあげると何やらタトゥーで「EIKO」と書いてある。

中迫 俺な、あいつの事を忘れない様にここにあいつの名前を彫ろうと思ってた。ちようどこの下に。ん？ これ？ これはねえ、読める？ EIKO えいこ。俺のね……お袋の名前。英子って言うんだ。あれね、英国の子って書いて英子ね。英国の子って書くけどもちろん日本人だよ。そう、お袋の名前。ん？ お袋？ うん……。

夜空を見上げる中迫。

中迫 今年の春に……還暦迎えた。

彼 生きてんだね。

のり うん。

中迫 お腹を痛めて産んでくれた感謝の気持ちをね、掘ってみた。超痛くて途中でやめそうになったけどね。英子でEIKOで4文字だから良かったよ。これがリカルド・イゼクソン・ドス・サントス・レイチとかいう名前だったら、俺、お袋、恨むね。……まあ君がもちろんそうするように、俺もあいつの思い出は忘れない。だから……。

改めてタトゥーを見る中迫。

中迫　　で、さつき渡したチラシだけど良かったらこれ友達十人くらい（更にチラシを手に）

中迫の照明C O　もみじの照明C I

もみじ　あなた達、一度、別れてあなたが部屋を出てった事があるでしょ？　なんかその時に、彼が酔っぱらって電話かけて来た事があってね。（笑）最初は「部屋が広くなくて、こいつはいいもんですな〜快適快適〜」なんて強がってたんだけど、次第に「缶切りがどこにあるか分からない」とか「醤油がどこにあるか分からない」とか「掃除機がどこにあるか分からない」とか。あ、で、なんか「一緒に作った大量のコロッケを冷凍庫から発掘したんだ〜」ってのはすごくうれしそうに話してて。彼女さんがいた時にはしたら怒られるからしなかった「昼間っからビールも飲んで極楽だ〜」って話してた。「寂しいの？」って聞いたたら、酔っぱらって半分寝ながら……「寂しい」って答えてた。「彼女の事、好きなんだね？」って聞いたたら「レバ刺しと同じくらい好き」って答えた。で、明日、「頼むから、頼むから帰ってきやがれ！」って電話するって言ってた。彼……ちよつと頑固で不器用な所もあったけど、優しい人だったよね？

もみじの照明C O　福ちゃんの照明C I

福ちゃん　（号泣）なんであいつ死んだんだよー！！

彼　　どうしたの？

のり　一杯だけ飲んだの。

彼　　またやっちゃった……。

福ちゃん　（号泣）俺さあ、あいつにエロビデオ貸してたんだよ。

彼　　あ。

福ちゃん　返せないのは仕方ないけど、返って来ないのは正直、辛いよ。荷物ってどうした？　もう実家とかに送ってあるでしょ？　あーもう絶対帰ってこない！　すげー気に入ってたのに。実家まで行ってあいつのお母さんに「これ、俺が貸してたエロビなんぞで持って行きますね」なんて言えねーよ。しかもAVのタイトルが『とつとこハメ太郎』……ぜってー言えねー。「お母さん、『とつとこハメ太郎』返してください。さあ、早く」。ぜってー言えねー。ちくしょー！　ちつくしょー！　ああ、ごめんごめんダメダメ、落ち着け、俺。落ち着け俺！　落ち着け！　ああ、大丈夫だから大

丈夫だから。酔ってない酔ってない。酔ってません。でもねえ……帰ってはこないからねえ……。どんだけ願っても、どんだけ祈っても……あいつは。

福ちゃんの照明ゆっくりFOしていく。

福ちゃん あいつの笑顔は。あいつの笑い声は……あいつの……あいつの……

福ちゃん、テーブルに手を付き（マイムで）深い眠りにおちていく。

度会 では

度会の照明C I

度会 心理テスト。あのコの好きだった所を七つ言ってみて。あ、あんまり頭で考えずに

ボンボン答えてね。

のり 一緒にいて楽しい所。

度会 うん。

のり 優しい所。

度会 優しい所。

のり ポジティブな所。

度会 はいみつつ。よつつめ。

のり んー……。

度会 みつつだけ？

のり いやいや……なんだろ？ あ、一緒にいてもボーって出来る……あ、気を使わない所。

度会 うん。

のり あと……手。

度会 て？

のり 「手」（自分の手のひらを見る）

度会 どうして？

のり なんだろう？ 彼の手は……大きくて、いつも優しくかった。

度会 （そっか）

のり 訂正……いつもじゃないな。

度会  
ん？

のり 彼は一度だけ私に手を挙げた事がある。高校の同窓会で、久し振りに酔っぱらって、連絡もしないですんごい遅い時間に帰った時に、彼は私をぶった。初めて彼にぶたれたショックで私はワンワン泣いた。そしたらなぜだか彼までワンワン泣いてた。私はその彼の姿に酔いも冷め、冷静になり、気が付いたら泣いてるのは彼だけになってた。「男のくせにメソメソすんな！」って、軽く頭をこずいたらその手を彼が握って来た。「心配したじゃねーかバカ、バカバカバカ！」泣くほど心配してくれる人がいるのがうれしかった。彼の頭を撫でたら「撫でんな」って。彼が私の頭を撫でた。彼はそういう雰囲気だと思ったのであろう、私にキスしようと近づいて来た。

度会 ……(笑)

のり 私は吐いた。

度会 ……ん？

のり 気持ち悪さの最高潮。我慢できなかった私は、吐いた。彼は「バカ野郎！ お前はマライオンか！」って、すっつつごい怒ってた。ふたりで大笑いし過ぎて隣りから苦情が来た。

度会 そっか。

のり ……えっと、あとふたつ？

度会 おしまい。

のり え？ でもまだ五つしか

度会 本当はね、七つ全部言ってもらうんだけど、今ので十分。

のり (え？)

度会 この心理テストで何が分かるかって言うと、実は、君が好きだった彼の本当の所は最初に言ったのでも、二番目に言ったのでもなく、「五つ目」に現れるんだ。

のり 五つ目……。

度会 好きな所を言うて行く。しかも人様に。最初の三つくらいは、何となくの体裁を保つての当たり障りの無い、且つそれはお互いに分かっている事。四つ目あたりになるとなかなか出て来なくなる。現に四つ目あたりから出て来なかったもんね？

のり (頷く)

度会 そして、もう何を言っついていいか分からなくなって来た頃の五つ目に、君が本当に一番好きだった「彼」がいるんだ。……のりちゃんは、あのコの手、好きだった？

のりが頷く。そののりを彼がじっと見ている。

度会　じゃあ、第八問。あなたは首の短いキリンです。

まみ　おじさん、どいて。

まみとるみが走って登場。まみが度会を追いやる。度会、「ヒャー」と、そのまま退場。

まみ　間に合った。

「ぜーぜー」と息の荒いるみとまみ。まみはチアガールのユニフォーム、るみはジャージ。

まみ　なんか……私達、なんにもお役に立てなかったねーって、るみとふたりで話して、

だから、あのー駅前のこんな所なんです……。

るみ　私達、チアリーディング部なんで、まあ、私はマネージャーなんですけど、応援す

るのが得意なんです。こんな事言ったら逆に失礼かもしれないけど、応援させてく

ださい！　まみ！

まみ　うん！

るみが頷き、るみはのりにエールを送る体勢になる。

のり　駅前でたくさんの方がいて、

るみ　レディ？

のり　恥ずかしかったけど

まみ　オーライ

のり　ふたりの気持ちがうれしかった。

まみがチアガールでのエール。るみは踊らないが声を一緒に出す。若さ溢れる力強い声が響く。そのエールに、めぐみ、せいこ、アザミ、詩織、もみじが加わる。それぞれ統一されたチアリーディングの衣装を着て。6人でのチア、のりへのエールが響く。途中、ジャージを脱いでるみも加わり勢いを増す。

終わると、るみとまみ以外のメンバーは「イエーイ」等、それぞれ口にしながら退場。

残ったるみとまみが力強く頷き、のりにボンボンで手を振り、走り去る。

そこに母ちゃんが何やら趣のあるノートを持って登場。そのノートをゆっくり開いて……。

母ちゃん 「ほのぼのと のんびり屋さん と思いきや 強き男に いつのまにやら」

「もしもしの 電話の声に 驚くは 若かりし頃 父ちゃんの声」  
そう、声がねえ、段々似て来てねえ。あと、ああこれね、

「星空に 向かって干しつ ユニフォーム ナンバー8の 君の大きさ」  
野球部でね、センターだったの。応援に来るな来るなあってうるさくてね。でも  
ね、いつも仕事の合間を見て、こっそり行ってたあ。(笑)

「落ち込みの 日々に続いた 日曜日 私を助くる 息子の言葉」

「秋空の 夕暮れ近く 川辺にて 遊ぶ子らに 幼き日重なる」  
やあねえ、なんかもう、涙腺がね、涙腺のダムがすぐに決壊しちゃうの。土囊を  
ね、こう積むんだけどね、ダメ。すぐに溢れ出ちゃう。……もうね、泣きたんび  
に、もう今日まで。もう今日までだから、だから「だから今日は泣いてもいいよ」  
って。許してあげるの。水門を開くの。でもね、また明日も明後日も泣いちゃう  
の、ごめんなさいね。あなたにまで、あなたにまでこんな辛い思いをさせちゃっ  
てね。

母ちゃん これが……この歌が最後だ。

母ちゃん 「目を覚ませ 覚めて欲しいと 冷たき手 強く握りし ほほあてるなり」

こぼれる涙、溢れる涙、泣き崩れる母ちゃん、照明F0

ウクレレを持ったみえこが登場し、ウクレレを弾き始める。

『空っぽワルツ』 詞 本田誠人 曲 佐藤みえこ (公演オリジナル楽曲)

なんてことのない うらかな午後  
おもいつきり伸びしたら 背中がつつた  
ようやく起きて カーテンを開ければ  
こんちきしよーなくらいの青空

手を伸ばした冷蔵庫は空っぽで

空っぽで 空っぽで 空っぽで 空っぽなのは

君がもういないこの部屋と同じ 僕の気持ちと同じ

唯一冷えてたのは缶ビール

乾杯って口にしてみたけど一体何に？

そうだコロッケ 食べきれなかった ふたりで作った

…これがまた旨いんだ

ああ 思い出も冷凍庫から今 さようなら

お箸一膳しっかり握って

自分のイビキで目が覚めた

はあーどーしよーもない一日

ふと振り返ると 部屋と僕を染める夕焼け

こんちきしよーなくらいキレイじゃないかー

空っぽでも 空っぽで 空っぽで 空っぽなのは

君がもういないこの部屋と同じ

空っぽで 空っぽで 空っぽで 空っぽで 空っぽなのは僕の気持ちも同じ

楽しかった

おかしかった

悲しかった

寂しかった

切なかった

悔しかった

うれしかった

楽しかった

空っぽで 空っぽで 空っぽで 空っぽなのは

君がもういないこの部屋と同じ 僕の気持ちと同じ

歌の途中、彼以外の登場人物フルメンバーが登場し、かわいらしい鼓笛隊のような演奏が始まる。楽隊は客席を下りて行き、そのまま退場。

みえこの演奏が終わる。照明F O

―暗転。



照明、じっくり時間をかけてF Iすると上手にのり。

ベッドの彼が起き上がると彼ではなく、悪魔の太田さん。

太田 楽しかった？ 彼のことを知る旅に出て。

のり 楽しかった……た。

太田 何でい、今の間は？

のり いや、こんな事して、彼が知ったらなんて言うだろうなーって。

太田 きっと、許してくれるよ。

のり そうかな？

太田 うん。許してくれるよ。「余計なことしやがって」って、笑いながらね。

のり (うん)

太田 ところでよ、あんたの空想で、そして妄想の中で出来上がったあつしはよー、あんたが必要としなくなった時点で、消えていなくなるっていう寸法でい。

のり そんなのやだよ、寂しいよ。

太田 そんな事言ったって、そうなるんだから仕方ない。あなたにとつちやあ、俺様と会話してるかもしれないけど、端から見たらただの独り言だよ。気持ち悪いったらありやしない。

のり がつくし……。

太田 俺様に頼つちやいけないよ。ましてや、あつしなんか惚れたりしちゃあ

のり 大丈夫。それはない。

太田 がつくし……。

のり 彼のこと知る旅に出て分かったこと。「彼はたくさんの人達に愛されてたこと」「たくさんの人達に支えられて生きてたこと」「彼と過ごした九年間が嘘じゃなかったってこと」そして私はたくさん励まされて、たくさん勇気をもらって……ようやく前を見ることが出来始めた自分に気付きました。

のりが話している中、彼以外の登場人物フルメンバーが舞台上に火のついたろうそくを手に客席通路を通り現れる。やがて舞台上はたくさんろうそくの明かりに包まれる。

のり　そして

太田　そして？

のり　彼に言えなかった一言がある。

太田　なんて？

のりが視線を上手前客席に視線をやる。遅れて太田も。

そこに立っているのは白いシャツにジーンズ、リュックを背負った彼。

照明、彼を照らし、舞台上はF Oして行く。

太田　お邪魔だな。

太田、上奥の袖に引っ込み、ちよこんと顔を出して見ている。

のり　どこ行くの？　そんなリュック背負って。

彼　これからバスに乗るんだ。

のり　それは乗らなきゃいけないの？

彼　うん。乗らなきゃ。

のり　そうなの？

彼　じゃないと、じゃないと彷徨っちゃうから。

のり　いいじゃん彷徨えば、いてよ……側に。

彼が腕時計で時間を確認する。

のり　もう時間？　行かなきゃならない？

彼　うん。

のり　あのさあ、あのー、これからも好きでいていい？　違うよ、ずっと君を引きずって行くって事じゃなくて、忘れるよ、いや、忘れない。どっちだよ。もっとデートしたかったね、もっと手をつなぎたかったね。もっとケンカもしたかったし、もっと、もつともつと一緒に歩きたかった。結婚したかったなー、って言うか、プロポーズもしないで置いてきやがってー。どうすりゃいいのよ私、もうおばはんだよ。(笑)

バスが到着したS E

「空っぽワルツ」が小さく流れる。

上出入口扉が開くと眩しい明かりが劇場に差す。そこに運転手が現れて。

運転手　えー最終バス、最終のバスになります。ご乗車の方はお急ぎ下さい。

彼が歩き出す。

のり　みちっ！！

振り向く彼。

のり　死んじゃうなんて、ずるいよ……バカ。

運転手　お客さん乗るの？　乗らないの？

彼　……。

運転手　どうするの？

彼　乗ります。

再び彼が歩き出した瞬間。

のり　あのね！……あのね、みち……。

振り向く彼。

のり　ありがとう。

太田さんの姿が消える。

そして「空っぽワルツ」の歌詞がちょうど……。

楽しかった

おかしかった

悲しかった

寂しかった

切なかった  
悔しかった  
うれしかった  
楽しかった

彼も扉の奥へと一步を踏み出す。そのいなくなる彼を見届けるのり。

のりは高い空を見上げる。こぼれたのは涙だけじゃなくて……

笑顔がこぼれた。

舞台上のろうそくが一斉に消えて……。

END

上演記録

ペテカン『彼のことを知る旅に出る』

二〇一一年十一月十二日(土)～二十日(日)

於 赤坂 RED/THEATER

キャスト

彼	宮原将護【大人の麦茶】
蒼山のり	四條久美子
みえこ	佐藤みえこ
翔	汐崎アイル
もみじ	長峰みのり
るみ	なしお成【電動夏子安置システム】
まみ	寒河江有似
中迫	大治幸雄
重村先生	岸博之
めぐみ	斉藤めぐみ
せいこ	谷部聖子
福ちゃん	徳岡温朗
アザミ	羽柴真希
六郎	斎田吾朗
詩織	成田沙織
渡会	濱田龍司
母ちゃん	濱崎けい子【二人の会】
運転手さん	河内拓也【劇団ステア】
太田さん	本田誠人

## スタッフ

脚本・演出	本田誠人
舞台美術	濱田龍司
照明	横幕絵美（満平舎）
照明操作	鶴岡大樹（満平舎）
音響	斎田吾朗
音響操作	野中祐里
音楽	佐藤みえこ
合奏編成	田中大介
Multi Staff	谷友彦
演出助手	中山隼人
舞台監督	保坂康幸
演出部	中平真那美
合唱編成・指導	黒木佳奈
振り付け	岡安慶子
宣伝美術	田村奈巳
パンフレットイラスト	坂口陽子
写真	小林円
ヘアカット	安藤千花子
撮影	採高堂「西池袋映像」
制作協力	大場裕美
制作	村上維
プロデューサー	濱田龍司

## 企画・製作

ペテカン